

平成17年度 事務事業評価表					
(様式1)					
記入年月日	平成17年4月28日			記入者	内線 2175
部 名	企画部	課 名	広聴広報課	課長名	白井誠一
事務事業名	さがみはらマップ				
予算上の事務事業名	さがみはらマップ				
1 総合計画における位置づけ	施策コード			36110	
基本目標	「躍動し 魅力あふれる交流拠点都市」をめざして				
政 策 名	第6章 高度情報化への対応を図ります				
基本施策名	第1節 豊かな市民生活を実現する情報化の推進				事業開始年度
施 策 名	第1施策 情報通信メディアを活用した行政サービスの推進				昭和63年以前 ▼
2 実施根拠及び関連法令・条例等					
相模原市広聴広報規則					
3 個別計画の概要			概要		
計画名					
計画年次	年度～	年度			
4 事業形態の区分 啓発・広報・イベント ▼					
5 事業概要					
(1) 事業の目的(何のために行うのかまたはもたらしたい成果)				(2) 対象(誰、何)	
市内全図を掲載するほか、バス路線図や施設情報などを載せ、市の案内図として利用してもらう。				市民(1世帯1部)	
(3) 平成16年度事業の内容(活動)・・・いつ、どのような方法で実施した内容(活動)なのか。					
16年度は4年ぶりに全面改訂し、25万1,000部作成(当初21万部作成し、執行残で4万1,000部増刷)。自治会を通じて全世帯に配布したほか、希望者や転入者に配布した。					
6 関連・類似事業や他市の状況					
近隣では座間市、厚木市、大和市などで同様のマップを作成している。横浜市は区ごとで作成している。					
7 事業費の推移 [単位:千円]					
年 度	平成14年度(決算)	平成15年度(決算)	平成16年度(決算見込)	平成17年度(予算)	平成18年度(見込)
事業費	0	0	5,702	0	0
一般財源	0	0	5,702	0	0
受益者負担金	0	0	0	0	0
その他の特定財源	0	0	0	0	0
人件費の合計	0	0	1,323	0	0
事業コスト合計(a)	0	0	7,025	0	0
8 事業効率・・・(複数の事業で構成されている場合は、その中の主たる事業)					
主たる事業名	さがみはらマップ			対象名称(単位)	配布世帯数(戸)
年 度	平成14年度(決算)	平成15年度(決算)	平成16年度(決算見込)	平成17年度(予算)	平成18年度(見込)
事業コスト(主たる事業)	0	0	7,025	0	0
対象数	0	0	251,000	0	0
単位あたり経費(円)			28		
前年度比					

9 活動指標・・・実施した内容（活動）の数値化						
指標名 (単位)	配布率（％）		指標式と指標の説明	配布部数/対象者数（平成17年4月1日現在世帯数）		
	平成14年度	平成15年度	平成16年度	平成17年度	平成18年度（目標）	
実績	0.0	0.0	98.2			
目標	0.0	0.0	100.0	0.0	0.0	
目標達成度			0.98			
10 成果指標・・・対象と意図の達成度を表す指標						
指標名 (単位)	配布率（％）		指標式と指標の説明	配布部数/対象者数（平成17年4月1日現在世帯数）		
	平成14年度	平成15年度	平成16年度	平成17年度	平成18年度（目標）	
実績	0.0	0.0	98.2			
目標	0.0	0.0	100.0	0.0	0.0	
目標達成度			98.2			
11 個別評価						
(1) 妥当性の評価 【A：妥当である・B：妥当性に課題がある・C：妥当でない】						
A	<input type="checkbox"/>	法令等により実施することが義務付けられている。				
	<input type="checkbox"/>	法令等に定められた市の責務を具体化して実施する事業である。				
	<input checked="" type="checkbox"/>	公益性が高い、または必需性が高い事業である。				
	<input checked="" type="checkbox"/>	将来にわたって、市民のニーズや行政需要がある。				
	<input checked="" type="checkbox"/>	税金を投入して実施するにふさわしい事業であり、市民にも説明できる。				
(2) 有効性の評価 【A：有効である・B：有効性を高める余地がある・C：有効でない】						
C	<input type="checkbox"/>	上位施策の目的を達成するために大きく貢献している。				
	<input checked="" type="checkbox"/>	課題等の解決や市民生活に大きく貢献している。				
	<input type="checkbox"/>	成果指標の実績値とその推移から見て、期待されるような成果をもたらしている。				
	<input type="checkbox"/>	事業の対象範囲は適切であり、対象は事業を実施したことによる効果を楽しんでいる。				
(3) 効率性の評価 【効率が良い・B：効率性を高める余地がある・C：効率が悪い】						
B	<input checked="" type="checkbox"/>	単位あたりの経費は適正である。				
	<input type="checkbox"/>	これ以上コスト節減の余地がない。				
	<input checked="" type="checkbox"/>	受益者負担や補助等の割合に問題はない。				
	<input type="checkbox"/>	事業の実施方法や実施体制は適正である。				
(4) 民間活力の導入の可能性 【有・無】						
無	<input type="checkbox"/>	業務の一部または全部について、民間で実施する方が経費の節減に繋がる。				
	<input type="checkbox"/>	業務の一部または全部について、民間で実施する方が技術・知識面で優れている。				
	<input type="checkbox"/>	業務の一部または全部について、民間で実施する方がサービス面で優れている。				
	<input checked="" type="checkbox"/>	民間では実施していない、または市が実施する方が優れている。				
12 総合評価						
(1) 自動判定結果						
	〔 〕：良好な状態を維持する事業					
	〔 〕：概ね良好な状況である事業					
	〔 〕：見直しを行う必要がある事業					
	〔 〕：抜本的な見直し、休止、廃止を検討すべき事業					
(2) 担当課の課長による評価（今後の方向性）			(3) 課長の評価に関する説明			
見直し	<input type="checkbox"/>	拡充・充実				
	<input type="checkbox"/>	現状維持				
	<input checked="" type="checkbox"/>	見直し				
	<input type="checkbox"/>	廃止				
13 成果の向上及び効率性を高めるための方策 対象の再検討。対象を減らすことで、印刷の単価は上がるが、全体のコストを下げるができる。			14 課題として認識されたこと 配布対象（全世帯ではなく、希望者に配布するなど）			
15 二次評価						
(1) 行政評価会議による評価（今後の方向性）			(2) 二次評価コメント			
見直し	<input type="checkbox"/>	拡充・充実				
	<input type="checkbox"/>	現状維持				
	<input checked="" type="checkbox"/>	見直し				
	<input type="checkbox"/>	廃止				
			担当課の課長による評価（今後の方向性）のとおり、見直しを進める。			